

地域の若手リーダーを育成 平成23年度組合員集中講座

将来の地域農業振興を担う農業後継者・若手リーダーの育成を目的にJAは11月30日、23年度組合員集中講座を開きました。管内の若手農業者ら約40人が受講生として参加。農産物直売所と健康をテーマに2部構成の講座が行われました。

第1部は、有限会社ベネットの青木隆夫代表取締役が『農産物直売所 成功の秘訣〜直売所の最新動向と大繁盛のポイント〜』をテーマに講演(詳細は特集)。

第2部では、上都賀総合病院健康管理課の手塚由樹保健師を招いて、生活習慣病の予防策など健康管理のポイントを学びました。



「健康はあなたが主役」と手塚保健師

増淵典男さんが最優秀賞・県知事賞を受賞 栃木県農業担い手躍進大会

栃木県担い手育成総合支援協議会と県認定農業者連絡協議会は11月9日、宇都宮市で「6次産業化による新たな活力」に向け、県農業担い手躍進大会を開きました。認定農業者や農業委員、地域担い手協議会関係者ら約600人が参加し、意識統一を図りました。

優良担い手表彰(認定農業者の部)で増淵典男さん(宇都宮市下桑島町)が最優秀賞・県知事賞を受賞。養豚経営から水稲・麦を中心とした土地利用型経営を規模拡大、また地域のリーダーとして活動している点などが高く評価されました。



表彰を受ける増淵さん(右)

一般消費者に地場産の農畜産物をPR かわち地産地消交流会

栃木県河内農業振興事務所は12月1日、宇都宮市で『かわち地産地消交流会』を開きました。同交流会は、生産者と実需者が一堂に会し、地元農畜産物の理解促進や供給体制の模索など、更なる地産地消の推進を検討していく場として役割を担っています。一般消費者や市場関係者ら約130人が参加しました。

地場産の食材を使った試食交流会では、管内で生産されている農畜産物を紹介。イチゴ・トマト・宇都宮牛などの品目概要や当JAが力を入れる『安心・信頼の産地うつのみや』の取り組みをPRしました。



地場産農産物を一般消費者にPR

他部門の業務を学び視野を広げる 平成23年度新入職員他部門業務研修

JAは23年度新入職員を対象にした他部門業務研修を行いました。他部門の業務を経験することにより、JA職員としての視野を広げ、組合員に対する応対力の強化や自己の能力開発に役立たせることが目的。

11月22日には、デイサービスセンターほえみ豊の郷で3人が研修。レクリエーションの時間では、利用者とともに松ぼっくりの手作りツリーを作りました。フロアリーダーを務めた中井香緒里さんは「研修で学んだことや利用者との会話で感じたことを日常の業務に生かしていきたい」と話しました。



自己紹介する新入職員

放射性物質の検査を開始しました

JAうつのみや産農畜産物の安全・安心の観点から、基準値超過の農産物を市場等に出荷しないために12月から放射性物質の検査を開始しました。



- 検査対象物…管内で販売を目的(市場・直売所等)に生産された農畜産物各種他
 - 受付対象者…JAうつのみやの組合員とします
 - 検査申込み…各営農経済センター営農課窓口へ
 - 検査料金…無料
 - 検査結果…検査報告書を発行します
 - 各専門部対応…各事務局が計画し最優先されます
- 詳細は各営農経済センターにお問い合わせ下さい。



がんばろう栃木 食べて元気だ! 栃木産

全国の農家と消費者がいっしょになって考え、行動する

みんなのよい食プロジェクト

やっぱり国産農畜産物推進運動

『よい食』とは?

- 産地を確認し **とちぎ産** にこだわること
 - 安いかどうかより **安全・安心** にこだわること
- それが家族にとっての『よい食』です。

1

そもそも…… 「みんなのよい食 プロジェクト」とは?

食の安全性が問われる今、生産者、JAグループ、消費者が手を取りあい日本人にとって本当に「よい食」とはなにかを考え、アクションを起こすことで安全・安心、おいしい国産農畜産物の需要拡大を図る運動です。

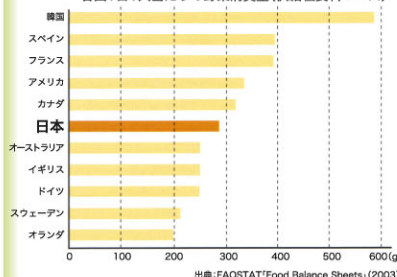


2

キーワードは「健康」

- 子どもの健やかな成長のため
- 美容のため、元気で過ごすため
- 介護いらずの明るい長寿のため

日本人は海外に比べて、以外に野菜不足
各国1日1人当たりの野菜消費量(供給額食料ベース)



美容と健康に欠かせない野菜と果物

昔はおかずといえば、旬の野菜を使った惣菜で、野菜不足よりタンパク質不足が心配されていました。ところが今、1日1人あたりの野菜の摂取量を見ると、目標値に達していないだけでなく、じつはアメリカよりも少ないという結果に驚かされます。季節ごとの旬の味が楽しめ、多種多様な野菜と果物が味わえるのは南北に長い日本列島ならではの、改めて野菜や果物のもつ、さまざまな機能性に注目してみましょう。

健康効果に注目の野菜

- ぬるねば野菜**
オクラやマイマイの「ぬるねば」の主体は、水溶性食物繊維のペクチンやムチン。ペクチンは果物にも含まれ生活習慣病予防効果が期待される。
- 香辛野菜**
トウガラシやショウガ、ワサビ、ネギなど刺激成分を含む香辛野菜は新陳代謝を活性にする。また、食欲増進効果、殺菌効果もある。
- ファイトケミカル**
淡色野菜に多く含まれる非栄養素物質の総称。免疫増進効果があるといわれ、がんの予防などに注目を集めている。

JAグループ栃木 / JA栃木中央会